

| コード         | 名称                          | 区分        | コード   | 名称                            |
|-------------|-----------------------------|-----------|-------|-------------------------------|
| 事業名         | 39 広報作成等業務                  | 会計        | 01    | 一般会計                          |
|             |                             | 款         | 02    | 総務費                           |
|             |                             | 項         | 01    | 総務管理費                         |
| 基本<br>施策    | 57 伊賀市としての一体感を生み出す          | 目         | 02    | 文書広報費                         |
|             |                             | 細目        | 111   | 広聴広報業務経費                      |
|             |                             | 細々目       | 51    | 広報作成等業務経費                     |
| 行革大綱の重点事項番号 |                             | 4         |       |                               |
| 担当部課        | コード<br>10200<br>名称<br>秘書広報課 | 担当者<br>氏名 | 南 一 朗 | 連絡先<br>22 - 9636<br>(内線) 1231 |

|                 |  |       |
|-----------------|--|-------|
| 対象(誰を、何を)       | 市民   | ※対象件数 |
| 成果(どうする)        | すべての市民が、読みやすく必要な情報を得ることができる。   |       |
| 根拠法令・要綱等        | 伊賀市広報事務取扱要綱  |       |
| 開始年度            | 平成 16 年度   | 関連事業  |
| 終了年度            | 平成 年度  |       |
| H22<br>事業<br>内容 | 月2回発行した。(1月は1回、1月5日に発行)<br>1日号16P、15日号8Pを基本とし、記事の多少によりページ数は増減した。<br>県政だより、県議会だよりとともに市民に配布した。 |       |
| 社会情勢<br>の変化等    |  |       |

| 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入) |    |
|-------------------------|----|
| 1 建設用地                  |    |
| 2 建設面積<br>(延床面積)        |    |
| 3 規模・構造                 |    |
| 4 総事業費                  | 千円 |

| 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入) |    |
|-----------------------------|----|
| 1 運営主体                      |    |
| 委託先                         |    |
| 2 配置人員                      | 人  |
| 3 年間運営費                     | 千円 |
| 4 市内の<br>類似施設               |    |

| 活動指標 | 指標名 | 単位 | 実績値        |            | 目標値     |         |
|------|-----|----|------------|------------|---------|---------|
|      |     |    | H21        | H22        | H23     | H24     |
| 発行部数 |     | 部  | 目標 826,000 | 目標 826,000 | 826,000 | 826,000 |
|      |     |    | 実績 825,050 | 実績 826,640 |         |         |
| 配布部数 |     | 部  | 目標 808,000 | 目標 808,000 | 808,000 | 808,000 |
|      |     |    | 実績 815,000 | 実績 813,376 |         |         |

| 成果指標      | 指標名 | 指標設定の考え方            | 単位  | 実績値    |        | 目標値 |     |
|-----------|-----|---------------------|-----|--------|--------|-----|-----|
|           |     |                     |     | H21    | H22    | H23 | H24 |
| 広報配布率     |     | 全世帯数を分母に、配布部数を分子とした | %   | 目標 90  | 目標 91  | 91  | 92  |
|           |     |                     |     | 実績 90  | 実績 90  |     |     |
| 編集発行総ページ数 |     |                     | ページ | 目標 336 | 目標 280 | 328 | 328 |
|           |     |                     |     | 実績 328 | 実績 288 |     |     |

| 投入コスト          | 直接事業費計(A) | H21 決算      | H22 決算      | H23 当初予算    | H24 当初要求    |
|----------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                |           | (千円)        | (千円)        | (千円)        | (千円)        |
| Aの<br>財源<br>内訳 | 国庫支出金     | 19,558      | 19,340      | 13,921      | 13,921      |
|                | 県支出金      | 7,073       | 6,780       |             |             |
|                | 地方債       |             |             |             |             |
|                | その他       | 1,240       | 1,060       | 1,260       | 1,260       |
|                | 一般財源      | 11,245      | 11,500      | 12,681      | 12,681      |
| 事業投入人件費(B)     |           | 2.0人 14,400 | 2.0人 14,400 | 2.0人 14,400 | 2.0人 14,400 |
| フルコスト(A)+(B)   |           | 33,958      | 33,740      | 28,321      | 28,321      |

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) |   | 備考欄(特記事項)              |
|-----------------------|---|------------------------|
| 必要性                   | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業  |                        |
|                       | 個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業         |                        |
|                       | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業                      |                        |
|                       | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業   |                        |
| 有効性                   | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 |                        |
|                       | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業   |                        |
|                       | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業   |                        |
|                       | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業             |                        |
| 達成度                   | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業                           |                        |
|                       | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  | ○                      |
|                       | 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業   |                        |
|                       | 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】   |                        |
| 効率性                   | 財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業   |                        |
|                       | 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】   |                        |
|                       | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。                                       |                        |
|                       | 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高                             |                        |
| 改善策                   | サービス水準や対象を見直す余地がある。   |                        |
|                       | 当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。   | 【計画に遅れが生じている場合、改善策】    |
|                       | 予算の繰越の有無 無  | 各課からの情報を収集し、広報に反映していく。 |
|                       | 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】  |                        |
| 昨年度<br>の取組状況          | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。   |                        |
|                       | 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。  |                        |
|                       | 【事業名】   |                        |
|                       | 受益者負担を求めることができる事業である。   |                        |
| 昨年度<br>の取組状況          | 全体コストにおける負担構成は適正である。  |                        |
|                       | コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。                                |                        |
|                       | 【状況】  | 計画のとおり進んでいる            |
|                       | 【詳細】  |                        |
| 昨年度<br>の取組状況          | 昨年度は、月2回発行し、市民への情報提供に努めるとともに、前年度と同様2色刷りとし、経費の削減を図った。                      |                        |
|                       | また、広報紙面上に有料広告を掲載し、1,060,000円の自主財源を確保した。                                   |                        |
|                       | なお、世帯の自治会への加入依頼は難しく、未実施であった。  |                        |
|                       |   |                        |

|          |   |
|----------|---|
| 改善策      | 全世帯が自治会へ加入するよう依頼する  |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 計画のとおり進んでいる<br>【詳細】<br>昨年度は、月2回発行し、市民への情報提供に努めるとともに、前年度と同様2色刷りとし、経費の削減を図った。また、広報紙面上に有料広告を掲載し、1,060,000円の自主財源を確保した。なお、世帯の自治会への加入依頼は難しく、未実施であった。 |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 担当課長氏名                       | 藤岡 淳次  |
| 事業の方向性                       | 【方向性】 現状維持<br>【理由】<br>市民に対する情報提供手段であり、「見やすい」「読みやすい」広報になるよう研修・研究を行っていく必要があるため、現状維持としたい。                   |
| 現時点における課題、その他                | 広報紙の配布率が全世帯の90%の状況であり、より多くの市民に市政情報を発信していかななくてはならない。  |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 広報紙は現在本庁、各支所及び各地区市民センターに配備しているが、自治会組織に未加入の世帯等について、申し出により個別に送付するとともに、市ホームページの広報が市のアクセスについて行政情報番組を通じて啓発する。 |